

経営理念：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の方針 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康）◆ たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）



こりす2歳児クラス便り

令和5年2月14日 文責 大角 千代美

「人前で発表する」～自分でできる達成感～

先日12日(日)は天気にも恵まれ一つの大きな行事を終える事ができました。前日が休みとあり、登園時保護者から泣いて離れないのではと心配や不安でいっぱいでしたが、玄関に迎えに行くと喜んで自分達の場所に座り、友達同士楽しむ姿が見られました。子ども達の姿はいかがだったのでしょうか？子ども達一人ひとりが舞

台の上で一生懸命、言葉遊びやわらべ歌を発表する姿をご覧いただけだと思います。大勢の人の前に立つという事は大人でもドキドキしてしまうものですが、誰一人として泣く姿も見せず、大勢の人の前で、これまでの取り組みを発表するという事ができて本当に嬉しく思いました。普段と比べると緊張している表情ではありましたが子ども達が楽しんで過ごしてくれたこと、そして、保護者様の皆様から「成長を感じた」「上手だった」など感想を頂きました。来年度は劇遊びも入り、ますます子ども達は発表する事に楽しみをもってくれる事と期待します。14名全員参加のお楽しみ発表会が無事に終わられた事に感謝致します。有難うございました。



子ども達の成長

～一年の中で～

4月当初は「できない、先生して・・・」と言い寄って来ていた子ども達が今では「自分で・・・」と最後まで頑張る姿や手伝いも喜んでやってくれる姿が見られる様になりました。給食時のおこぼし皿の水汲みはもちろん、台拭きや手拭きタオルを配ったり、友だちが着替えで困っていると静かに手を伸ばし、着

替えやすい様に手伝ってくれたり、パジャマのボタンを掛けてあげる、帽子やジャンパーなど出かける時に忘れている子がいると持って行ってあげる等、周りを見て友達に声を掛けて教えてあげたり、自分で気づいて動けるように成長してきました。今年度も残り2か月を切っています。子ども達がかもしか組に進級する日に向け、楽しみのなかで自己肯定感をもてるように取り組んでいきたいと思



苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹保育教諭 豊永 祥子 解決責任者 園長 中根 賢誠

第三者委員 丸田瑞穂 (099-482-2927) 横峯友理子 (099-474-1851) 山口 和美 (090-5473-5866)